

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	旅行代理店（店 長）	来客数の動き	・ 2、3か月前は台風や地震の影響が尾を引き、来客数も前年を下回る状況であったが、2月単月では前年比で121%と好調に推移した。販売単価の低下分も含めて確実に取り戻している。
		通信会社（経営 者）	それ以外	・ 業界各社が好調で人を増やし始めており、システム開発者を含め、技術職の採用が非常に難しくなっているほどである。
	やや良く なっている	百貨店（経理担 当）	販売量の動き	・ 冬物の処分は一段落したが、まだまだ寒い日が続いているので、春物も流行に敏感な商品が動いたものの、その他は今一つの動きである。ただ、今年は家庭用品で春のインテリアが動いている。
		衣料品専門店 （営業・販売担 当）	販売量の動き	・ 春物スーツの動きが例年よりも早く、活発になってきている。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・ 昨年に比べて売上が5割のアップとなっている。新型車が出たこともあり、非常に良く売れている。
		その他専門店 〔医薬品〕（経 営者）	来客数の動き	・ 今月は寒暖の差があったので風邪薬や栄養ドリンクが活発に動いた。
		旅行代理店（広 報担当）	来客数の動き	・ 国内旅行、海外旅行のいずれについても、1～3月は予約状況が人員ベースで前年を上回っている。愛知万博へのツアー予約についても、開催まで1か月を切つてようやく動き出した。
		その他レジャー 施設〔球場〕 （経理担当）	来客数の動き	・ 野球のオフシーズンにもかかわらず、前年比でプラス20%程度の来客数の増加が見込まれる。
		その他サービス 〔ビデオ・CD レンタル〕（エ リア担当）	販売量の動き	・ 昨年からの韓流ブームの影響もあり、既存店売上は前年の水準をクリアした。
		住宅販売会社 （経営者）	単価の動き	・ 土地が商業地を中心に、依然高値で取引されている。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・ 分譲マンションでは高齢者需要が大きくなっている。シニア住宅では分譲型をはじめ、利用権方式、賃貸型まで需要が大きい。
		その他住宅〔情 報誌〕（編集 者）	お客様の様子	・ 年明けよりも明らかに不動産購入が活発になっており、竣工間近の新築マンションの販売在庫が順調に売れている。また人気エリアの中古物件に関しても、品薄感が出てきており、全般的に価格の底入れが感じられるようになった。
変わらない		一般小売店〔衣 服〕（経営者）	単価の動き	・ 冬物のセールが好調であったが、春物の動きがまだ悪い。
		百貨店（営業担 当）	競争相手の様子	・ 毛皮などの季節商品は昨年以上の引き合いがあったが、郊外のショッピングセンターなど異業種との競争激化により、来客数は減ってきている。
		百貨店（統括）	販売量の動き	・ 住まい関連の商品とバレンタイン菓子が前年と比べて若干良い程度で、ほぼ変化はみられない。
		百貨店（サービ ス担当）	お客様の様子	・ 売上は前年の5%減で推移している。今月は有名ブランドで値上げがあったので、値上げ前の駆け込み需要により特選婦人洋品は好調であったが、売上全体を引き上げるだけの効果はなかった。
		スーパー（経営 者）	お客様の様子	・ 2月は子供の受験や入学でお金がいるのか、非常に買物が慎重になっており、最低限に切り詰めている動きがみられる。
		スーパー（経理 担当）	お客様の様子	・ 競合店との価格競争が非常に激しい。さらに、客は特売や日替わり商品を目がけて来るので、売上は伸びない状況が続いている。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・ 1月は冬物セール用商品がたくさんあったので売上は伸びたが、2月に入ってから売れる物がなくなってきた。
		衣料品専門店 （経営者）	競争相手の様子	・ 商店街で高級店の閉店が相次ぐなか、低価格で参入できるところには新規店舗が新店を出店してきているが、数百万円程度の投資にとどまっている。

	家電量販店(店長)	販売量の動き	・各社の決算が近づくとつれて価格競争が激化しており、売上と粗利のバランスが崩れてきている。
	家電量販店(企画担当)	単価の動き	・薄型テレビ、DVD、空気清浄機は順調に推移している。ただ、白物家電を除いて単価が毎月下がってきている。
	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・例年この時期は自動車をもっと売れるのだが、今年は静かであり、客からもリストラの話などをよく聞く。
	その他専門店[医薬品](店員)	来客数の動き	・一部の新製品や話題商品の売行きが若干良くなっている。
	その他専門店[スポーツ用品](経理担当)	販売量の動き	・暖冬による秋冬物の返品が増加で在庫が増えている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・1月の新年会をやめて、小さな集まりを2月に行うグループが結構あったため、最悪の状態は免れた。
	都市型ホテル(支配人)	販売量の動き	・飲食、宿泊部門は個人、グループ等の利用により、前年実績を若干上回ったが、宴会部門で前年を若干下回ったことから、全体的には現状維持とみられる。
	都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・宿泊では、ビジネスを中心に個人客が伸びない。料金を下げても反応がなく、全体的に閉塞感が感じられる。その一方、宴会は順調で、ここ3か月連続で前年の水準を上回っている。
	都市型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・宿泊に関しては、昨年まで3月にあった医師国家試験の団体宿泊が今年から2月になったことや、1月から常宿の宿泊数が増えたことから、売上が前年予算を上回った。個人の動きはほぼ前年並みで、宴会に関しては一般宴会、婚礼とも前年予算と比べてマイナスと厳しい状況になっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・流し営業、ホテル待機営業とも客の乗車機会は堅調に推移したが、今月は気温低下、天候不順などにより、やむを得ずタクシーを利用する客が多くなった可能性がある。
	タクシー会社(経営者)	お客様の様子	・繁忙期である週末も乗客が少なく、街に人出があっても最終電車を目指して人が流れている。
	競輪場(職員)	単価の動き	・2月はレースのグレードが低かったことや、開催が平日だったことなどから、11月に比べて本場単価が低下したものの、場外発売単価が良かったので相殺すると変わらない。
	その他レジャー施設[イベントホール](職員)	販売量の動き	・今月は長期公演もあったが、ここ数か月と同じように様々なジャンルのイベントも開催された。準備日も含めると休みなしでフル稼働となり、大いににぎわった。
	住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・2月は客の買い急ぎがあまりみられないため、例年契約率が落ちる。法人に関しては、決算対策が活発になる3月に動くことが多く、今年も例年通りの動きであった。
	住宅販売会社(総務担当)	それ以外	・不動産購入が活発になってきているが、入札物件が多いため、実際はなかなか成約できない。また、不動産売却の情報も少なく、良い物件の確保が難しい。
やや悪くなっている	一般小売店[時計](経営者)	販売量の動き	・近隣の大型ショッピングセンターで1年がかりの建替えが進んでいる。その完成を控えて、仮設店舗で前倒しの閉店セールが始まっており、客はそちらに集まっているので、来客数が減少している。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・気温の影響やトレンド商品の不在等で春物商品の動きが鈍いほか、冬物売り尽くしセールも低調であったので、今月は苦戦した。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・競合店の相次ぐ出店により来客数が15%程度減っている。客単価もやや下がっており、売上はかなり厳しい状況が続いている。
	コンビニ(店長)	販売量の動き	・1月から2月にかけて前年より気温が低めであったことや、前年にコンビニ限定の特定保健用食品の発売があった反動などで、今年は不振である。
	観光型旅館(経営者)	単価の動き	・冬場でも海釣り等で来ていた常連客が、今年はあまりみられない。

	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・12月、1月と上向いていた宿泊部門も、今月は宿泊客数が減少気味で推移している。好調だったレストラン部門も、1月以降は来客数が急激に悪化している。	
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・愛知万博関係の商品は順調であるが、それ以外については販売量が減少している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年、寒い時期は近距離でもタクシーを利用する客がみられたが、今年はそれがみられない。夜間においても帰宅時間が早まり、深夜の需要が少なくなっている。	
	タクシー運転手	競争相手の様子	・安いメーター料金のタクシーも、空車が目立っている。	
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新商品の投入はあるが、顧客の動きが鈍い感がある。	
	美容室（店長）	販売量の動き	・セット販売を行っている化粧品の入荷が遅れ、販売が前年に比べて3分の1ほど減少した。	
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・天候の悪い日には商店街の人通りが全くない。また、春物関係の出足も悪い。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・これまで1日に2、3回来店していた客も、今月中旬以降は1回になった。さらに、毎日来店していた客も1日間隔になってきている。	
	その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・宝飾品は単価の下落がなかなか止まらず、低単価品に需要が集中している。	
企業動向関連	良くなっている	建設業（経営者）	それ以外	・顧客からの問い合わせが増えてきているが、特に新規の客からの問い合わせが多い。
	やや良くなっている	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売却物件の不足が気になるものの、大阪市内を中心として、収益不動産の3月末に向けた駆け込み需要が活発化している。
		その他非製造業【民間放送】（従業員）	受注量や販売量の動き	・ラジオスポットが例年になく好調を維持した。テレビスポットは、東京地区で各局在庫量を上回る需要でオーバーフロー気味である。スポンサーがキャンペーン延期などを決定し、大阪でも発注取りやめが若干あった。
変わらない		食品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月も先月に引き続き、受注量、販売量ともに伸び悩んでいる。企画ごとの受注数が減っているほか、量販店等も売上が伸びていないため、受注全体が減ってきている。
		金属製品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・鉄板や鋼材などの原材料価格は高騰しているにもかかわらず、販売価格は値上げが通らない状況が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・製鉄関係の取引先では相変わらず活発に投資が行われている。当社にも、品質向上のための設備投資案件の引き合いが多い。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・AV関連商品の薄型テレビ、DVDレコーダー等は、これまで通り堅調に推移しているが、その他のジャンルでは変化のない状況である。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・鉄、原油価格の高騰により建設資材の高値が続いている。受注競争は相変わらず厳しい。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・中小建設業、内装工事業は売上の減少傾向に歯止めがかかってきている。また建売業においても、契約件数は若干であるが回復してきている。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・建売住宅用地やマンション用地の取得意欲は依然おう盛で、土地価格も上昇傾向にあるが、分譲価格に反映されていない。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・従来は利用が少なかった病院や大学からの大量の注文が発生した。双方とも収入源である患者や学生の減少傾向に対するプロモーションのため、印刷物を強化しているようである。
		その他非製造業【衣服卸】（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大手の百貨店に代表されるように、単価による取引先の選別傾向が進んでいることで、卸売業では苦しい採算状態の企業が増加している。
		その他非製造業【機械器具卸】（経営者）	取引先の様子	・原材料価格が上がったために仕入原価も上がってきている。得意先に購入はしてもらえが、値上げが滞っているので、売上に利益が伴わない。

	やや悪くなっている	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・年末の需要期に出荷が増えた関係で、1月は多少の動きがあったが、2月に入ってストップしたまま全く動きがない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	競争相手の様子	・同業他社や仕入先の材料メーカーは、1月中旬から生産量を確保できていないという話を頻繁に聞く。
		化学工業（経営者）	取引先の様子	・年明けのこの時期は例年出荷量が減るが、今年は通常品の荷動きが特に悪くなっている。
		輸送業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の大手飲料メーカーの運賃が今月から急に値下げになり、そのダウンが大きく響いた。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・年度末にかかるこの時期は、例年建設部門での日雇い求人がピークを迎えるが、今年は求人が特に多くなっている。下請企業や孫請企業が、十分な技能を持った人手を確保できていないと嘆くほどである。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・企業の求人意欲は依然増加傾向であるが、求職者の動きは40歳以上の中高年層が活発である一方、企業が求める対象は20～30歳が多いので、採用未充足が続いている。また業務請負業の採用広告が増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・採用予定数を充足していない企業は継続して採用活動を行っている。新規出店や営業力強化等の積極的な採用方針が多い。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・例年の年度末特有の動きとして、経理、総務関係の仕事がかなり出てきているが、今年は人が集まらず、企業は苦労している。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・大学等の卒業シーズンを迎え、就職先が決まらず派遣登録に訪れる学生が増加している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新聞の求人広告は前年並みで推移した。特にリードする広告主があるわけではないが、現場作業業務での求人は多少好調となっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数の減少は続いているが、その中で在職求職者は微増となっている。在職求職者の現職業は派遣社員であることが多いことから、派遣社員の中に正社員へシフトする人が多くなっているとみられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・大企業の求人数は増加傾向にあるが、周辺の中小企業の採用意欲が上向いているように思えない。
やや悪くなっている		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年比は、この1年間続いていた2けたの増加から2.7%増と微増にとどまった。理由としては、請負、派遣求人の増加が鈍化していることが考えられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業の求人数は下げ止まり感が出始めているが、求人数全体の7割を占める卸、小売、サービス業で依然として減少が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月までは請負求人1件につき20人以上の募集が数件あったが、2月についてはみられない。
	悪くなっている	-	-	-